

平成 27（2015）年度事業計画書
（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）
公益財団法人日工組社会安全財団

市民生活の安全と平穏を確保する上で解決すべき諸問題に関する調査研究・広報啓発・フォーラムの開催等並びにこれらの事業を行う団体等に対する助成を行う。

I 研究事業

(1) パチンコ依存問題に関する研究（継続事業）

当年度は、平成 26 年度の調査結果の分析ならびに質問紙の手法による標準サンプル全国調査等を行う。

(2) ストーカーの被害実態に関する調査研究（新規事業）

ストーカー事案の早期対処及び被害者・加害者双方に効果的な対策の参考に資するため、我が国初の総合的な被害者実態等に係る調査を実施する。

II 安全事業

(1) 第 24 回全国小学生作文コンクール「わたしたちのまちのおまわりさん」（継続事業）

標記のコンクール及び表彰式を当年度第 3 四半期に実施する。

(2) 安全問題に関するフォーラムの開催（継続事業）

サイバー犯罪の脅威に対して、我が国がサイバー空間の維持・発展のためになにができるのかについて、国際機関等の担当責任者及び内外の実務者等によるフォーラムを当年度第 2 四半期に開催する。

III 助成事業

(1) 研究助成（継続事業）

安全問題に関する領域を対象とした研究に対する助成を行う。当年度は、研究助成選考委員会（平成 27 年 1 月 22 日開催）の審議を経た表 1「2015 年度研究助成対象者」記載の一般研究助成 5 件、若手研究助成 4 件の助成を行う。

(2) 広域安全事業に対する助成（継続事業）

国内において全国規模又は複数の都道府県以上の広域にわたって行われるもの及び国際間で行われる少年の非行防止と健全育成、薬物乱用防止及び犯罪被害者対策等の各種事業に対して助成を行う。当年度は、安全事業助成選考委員会（平成 27 年 1 月 9 日開催）の審議を経た表 2「平成 27 年度 広域安全事業 助成計画」記載の 21 事業に対して助成を行う。

(3) 県域安全事業に対する助成（継続事業）

一の都道府県の域内において、複数の市町村にわたってあるいは都道府県全域において行われる少年の非行防止と健全育成、薬物乱用防止及び犯罪被害者対策等の各種事業に対して助成を行う。当年度は、安全事業助成選考委員会（平成 27 年 1 月 9 日開催）の審議を経た表 3「平成

27 年度 県域安全事業 助成計画」記載の 12 事業に対して助成を行う。

(4) 暴力団排除事業に対する助成（継続事業）

暴力団を社会から排除するための活動のうち、地域の住民で構成する団体が主体となって行われるものに対する助成を通年募集の方法により行う。

(5) 東日本大震災の被災地域に対する特別助成（継続事業—7 年計画の 5 年目）

東日本大震災に係る被災地域における公共の安全と秩序の維持に寄与する事業に対する助成を行う。

表 1

2015 年度研究助成対象者

<一般研究助成>

(単位:万円)

	所属 代表者名	研究テーマ	助成額
1	関西福祉科学大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授 遠藤 洋二	児童養護施設における「性暴力対応プロトコル (多機関連携モデル)」策定に関する研究	284
2	神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 川畑 徹朗	レジリエンシーの形成を促すいじめ防止プログラムの開発	280
3	東海大学大学院 実務法学研究科 准教授 柑本 美和	刑事政策の課題としての児童虐待—警察の関与 の観点から	300
4	広島大学大学院 社会科学研究科マネジメント専攻 准教授 相馬 敏彦	若者の DV 被害を予防するプログラムの効果検証 : DV 被害の脆弱性モデルを基盤として	300
5	産業技術総合研究所 サービス工学研究センター 主任研究員 山下 倫央	IT を活用した群集流動における安全安心の実現 に関する実証的研究	264

※助成額は、万円未満の記載を省略 1,428

<若手研究助成>

	所属 氏名	研究テーマ	助成額
1	信州大学 人文学部文化情報論分野 准教授 佐藤 広英	高齢者のインターネット上でのプライバシー意識に関する心理学的研究	100
2	早稲田大学大学院 法学研究科 研究生 宍倉 悠太	発達障害を有する非行少年・不良行為少年の再発防止システムに関する研究	99
3	法務省矯正局 法務技官 (心理) 福井刑務所 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 博士課程後期課程 反中 亜弓	粗暴犯の感情認知・コントロール特性についての検討 : 失感情に着目した矯正プログラムの開発	97
4	名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 博士後期課程 都島 梨紗	どのようにして非行から足を洗うのか 一少年院 出院者の就労獲得プロセスの追跡調査を事例に —	100

※助成額は、万円未満の記載を省略 396

表 2

平成27年度 広域安全事業 助成計画

(単位:万円)

事業名		実施団体名	助成額
子どもの安全対策			
1	虐待未然防止・早期発見ネットワークづくり	NPO 子育てバレット	150
2	先生のための子供支援セミナー:子供を性の商品化から守るには	NPO 人身取引被害者サポートセンター ライトハウス	150
女性を守る対策			
3	デートDV電話相談事業および相談員養成事業	認NPO エンバワメントかながわ	150
4	DV被害女性と子どもの支援及びDVシェルター運営事業	NPO 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ	180
5	DVシェルター宿直ボランティア配置事業	(公財)日本キリスト教婦人矯風会	125
6	性暴力被害者支援員の研修事業・性暴力当事者のための交流会事業	NPO レイプクライシスセンター Tsubomi	80
少年の非行防止と健全育成			
7	STOP非行〜未来に種まきルーシンプोजウム	(公社)ストップ・ガン・キャラバン隊	241
8	季刊誌「青少年問題」の刊行	(一財)青少年問題研究会	161
9	全国少年警察学生ボランティア研修会	(公社)全国少年警察ボランティア協会	286
10	不登校・いじめの専門誌『Fonte』『不登校新聞』の発行と 無償送付事業	NPO 全国不登校新聞社	130
薬物銃器対策			
11	薬物事犯者に対する薬物研修事業	NPO アジア太平洋地域アディクション研究所	140
12	薬物乱用防止啓発冊子の作成事業	(公財)全国防犯協会連合会	300
13	薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動啓発資料の作成	(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	200
犯罪被害者支援			
14	犯罪被害者 宿泊交流会	九州・沖縄犯罪被害者連絡会(みどりの風)	90
15	犯罪被害者向けノート作成事業	途切れない支援を被害者と考える会	150
16	犯罪被害者等支援のための小冊子及びポスターの作成配布	(公財)犯罪被害者支援基金	200
犯罪情勢に対応した対策			
17	矯正施設出所者の社会生活維持のための宿所提供事業	NPO 風の家	100
18	第23回海外安全対策会議	(公財)公共政策調査会	166
19	万引対策と最前線で闘っている方々からのメッセージ集	NPO 全国万引犯罪防止機構	270
20	住宅を対象とした侵入犯罪対策に関する広報啓発用のチラシの作成	日本ロックセキュリティ協同組合	200
21	知的財産権保護のための広報啓発ポスター及びリーフレットの作成	不正商品対策協議会	200
事業数合計 (21事業)		助成金合計	3,669

注) 団体名の略称は以下のとおりです。

(公財)…公益財団法人 (公社)…公益社団法人 (一財)…一般財団法人

認NPO…認定特定非営利活動法人 NPO…特定非営利活動法人

表3

平成27年度 県域安全事業 助成計画

(単位:万円)

事業名		実施団体名	助成額
地域社会との連携による安全・安心なまちづくり			
1	防犯ボランティア交流研修会	(公財)群馬県防犯協会	36
2	「安まちメール」普及活動及び「ひったくり防止カバー」普及活動	NPO チーム・スピリット	50
3	防犯指導技能養成事業	(公社)長崎県防犯協会連合会	33
4	防犯ボランティア地域交流会の開催	(公社)宮城県防犯協会連合会	32
5	防犯ボランティア地域交流会	(公社)山口県防犯連合会	31
子どもの安全対策			
6	「こどもの不思議。すべてに理由がある」～親も子も一緒に育つ～	NPO 阿賀野児童福祉会	50
女性を守る対策			
7	DV被害女性と子どものためのシェルター運営とこころのケア	NPO ひこばえ	50
少年の非行防止と健全育成			
8	若い世代へのデートDV 予防啓発事業「デートDV ってなんだろう」	NPO CAP ユニット	50
9	若者対象のデートDV 予防教育啓発ハンドブックの最新版の作成	NPO DV 防止ながさき	40
薬物銃器対策			
10	農作業による就労支援(社会参加・社会復帰)事業の継続	NPO 京都 DARC	25
犯罪被害者支援			
11	「被害者ノート」活用支援の試行実施事業	(公社)被害者支援センターすてつぷぐんま	42
12	犯罪被害者支援サポーター養成講座	NPO 被害者支援ネットワーク佐賀 VOISS	50
事業数合計 (12事業)		助成金合計	489

※千円単位以下の表記を省略した関係で、助成金合計は、実際の金額よりも1万円少ない。

注) 団体名の略称は以下のとおりです。

(公財)…公益財団法人 (公社)…公益社団法人 NPO…特定非営利活動法人